

クラウドコンピューティングにおける
 不正アクセスやパフォーマンスの課題を解決する
 不正侵入検知・防御システム
 「SecureSoft Sniper IPS」を9月1日(水)より取扱い開始

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田和則、以下キヤノンITS)は、クラウドコンピューティングにおける不正アクセスやパフォーマンスなどの課題を解決することができる、不正侵入検知・防御システム「SecureSoft Sniper IPS」を9月1日(水)より取扱い開始します。



写真「SecureSoft Sniper IPS-A2000」

クラウドコンピューティングにおいては、不正アクセスやサーバーへの高負荷などが課題としてあげられており、安全にサービスを提供するためには、不正アクセスの防止やパフォーマンス維持への対策が重要となります。

■ 高い不正アクセス検知率

SecureSoft Sniper IPSは、フラグメントされたマルチパケット、セッションベース、ファイルレベルの検知・防御が可能です。また、外部からの不正アクセス対策はもちろん、設置方法によっては、内部からのウイルス感染元の追跡や、P2P技術を用いたファイル交換ソフトの使用を検知することができます。

■ 高いスループットを維持する高速処理

独自開発ドライバーによる高速パケット処理を実現し、64byteや128byteなどのショートパケットでも高いスループットを維持します。また、高速化するインターネット回線に合わせて200Mbps～4Gbpsに対応したラインアップがあります。

製品名	希望小売価格(税別)
SecureSoft Sniper IPS-A1000	180万円

<SecureSoft Sniper IPSの主な特長>

■ 高い不正アクセス検知率

フラグメントされたマルチパケット、セッションベース、ファイルレベルの検知・防御が可能です。ASP業者による6種類のIPS製品を対象とした評価ベンチマークテストを行い、同一の評価ネットワーク環境にて50種類の侵入攻撃テストを実施した結果、SecureSoft Sniper IPSが98%の高い検知率を示しました。^(※1)また、外部からの不正アクセス対策はもちろん、設置方法によっては、内部からのウイルス感染元の追跡や、P2P技術を用いたファイル交換ソフトの使用を検知することができます。

(※1)セキュアソフト社調べ

■ 高いスループットを維持する高速処理

独自開発ドライバーによる高速パケット処理を実現します。携帯電話向けのコンテンツを提供するISP事業者が3種類のIPS製品についてスループット評価テストを実施しました。同一のネットワーク環境において2Gbpsのスループットで測定した結果、64byteや128byteのショートパケットのスループットに対して、SecureSoft Sniper IPSが高いスループットを維持することを立証しました。^(※2)

(※2)セキュアソフト社調べ

■ 管理用サーバーが不要

SecureSoft Sniper IPSは高性能なCPUを搭載し、検知・防御処理と管理機能を1つの筐体で提供しているため、管理用のサーバーを別途設置する必要がなく容易に導入することができます。導入や保守、アップデートにかかる費用を削減することができます。

■ 運用が容易

検出したイベントは日本語対応の管理画面でわかりやすく表示されます。また、検出したイベントをワンクリックすることで検知・防御などのルールを直接修正できるなど、簡単な操作で運用することができます。

<SecureSoft Sniper IPS 販売情報>

SecureSoft Sniper IPS アプライアンス製品 (ハードウェア+ソフトウェア)

製品名	希望小売価格(税別)
SecureSoft Sniper IPS-A1000 ハードウェア+ライセンス1式	1,800,000円
SecureSoft Sniper IPS-A2000 ハードウェア+ライセンス1式	7,000,000円
SecureSoft Sniper IPS-A4000 ハードウェア+ライセンス1式	12,000,000円

SecureSoft Sniper IPS 保守サービス(年間)

製品名	希望小売価格(税別)
SecureSoft Sniper IPS-A1000 ソフトウェア保守(※1)	270,000円
SecureSoft Sniper IPS-A1000 ハードウェアセンドバック保守(※2)	90,000円
SecureSoft Sniper IPS-A1000 ハードウェアオンサイト標準保守(※3)	180,000円
SecureSoft Sniper IPS-A1000 ハードウェアオンサイト拡張保守(※4)	315,000円
SecureSoft Sniper IPS-A2000 ソフトウェア保守(※1)	1,050,000円
SecureSoft Sniper IPS-A2000 ハードウェアセンドバック保守(※2)	350,000円
SecureSoft Sniper IPS-A2000 ハードウェアオンサイト標準保守(※3)	700,000円
SecureSoft Sniper IPS-A2000 ハードウェアオンサイト拡張保守(※4)	1,225,000円
SecureSoft Sniper IPS-A4000 ソフトウェア保守(※1)	1,800,000円
SecureSoft Sniper IPS-A4000 ハードウェアセンドバック保守(※2)	600,000円
SecureSoft Sniper IPS-A4000 ハードウェアオンサイト標準保守(※3)	1,200,000円
SecureSoft Sniper IPS-A4000 ハードウェアオンサイト拡張保守(※4)	2,100,000円

(※1)ソフトウェア保守は、初年度より必須です。

(※2)ハードウェアセンドバック保守の初年度分は、SecureSoft Sniper IPS本体価格に含まれます。

(※3)ハードウェアオンサイト標準保守は、平日9:00-17:00の保守になります。

(※4)ハードウェアオンサイト拡張保守は、24時間365日の保守になります。

※保守サービスの対象期間は、製品ご購入後5年間となります。

■ SecureSoft Sniper IPS 保守内容

- ・ソフトウェア保守
 - － シグネチャパターンファイルのアップデート権利
 - － ソフトウェアバージョンアップ版の提供
 - － TEL/E-Mailによるソフトウェアに関する質問受付(平日9:00-17:00)
- ・ハードウェアセンドバック保守
 - － ハードウェア故障時に代替交換機を配送
 - － TEL/E-Mailによる受付(平日9:00-17:00)
 - ※ 障害切り分け作業は含まれていません
- ・ハードウェアオンサイト標準保守
 - － 障害切り分け、現地へ訪問し代替交換機の設置・設定・稼働確認
 - － TELによる受付(平日9:00-17:00)
- ・ハードウェアオンサイト拡張保守
 - － 障害切り分け、現地へ訪問し代替交換機の設置・設定・稼働確認
 - － TELによる受付(24時間365日)

■ SecureSoft Security.O.K.Service (IPS監視・運用サービス)

SecureSoft Security.O.K.Serviceは、SecureSoft Sniper IPSの監視や運用をアウトソーシングできるサービスです。セキュリティ監視センターからの24時間365日の監視により、安心して運用を任せることができます。イベントモニタリング(不正アクセスなどのイベントを検知した場合に遮断する設定を行う)や死活監視など必要最小限のサービスを組み合わせたベーシックタイプと、ベーシックタイプの内容に多角的側面からのログ分析と定期的レポート・推奨ポリシー値の報告を追加したオプティマムタイプがあります。

<SecureSoft Sniper IPS 製品仕様>

製品名	Sniper IPS-A1000	Sniper IPS-A2000	Sniper IPS-A4000
スループット	200Mbps	2.5Gbps	4Gbps
最大セッション数	1,000,000	1,000,000	2,000,000
インターフェイス	10/100Base-T × 2	1000Base-SX × 2 or 10/100/1000Base-T × 2	1000Base-SX × 2 or 10/100/1000Base-T × 2
対応セグメント	1	2	2
シリアルポート	1	1	1
VGA / USBポート	1/2	1/2	1/2
バイパスユニット	内蔵	内蔵	内蔵
寸法[mm] (H×W×D)	88 × 430 × 427.2	88 × 430 × 472.2	134 × 432 × 431
電源リダンダント	○	○	○
ファンリダンダント	○	○	○

※SecureSoft Sniper IPSは、株式会社セキュアソフトの商標です。

※その他記載の製品名および社名は各社の商標または登録商標です。

※仕様は予告なく変更する場合があります。